

- 県産木材の利用及び県産木材製品の販路拡大に向け、令和元年度よりマーケットインによるニーズに応じた製品開発等に対して補助する制度を創設。
- 令和元年度～令和5年度までには、県内合板工場で発生する端材を活用した木塀や、コロナ渦に対応したコワーキングスペース等の内装製品、山梨県有林のFSC認証材を使用した玩具や集成材製品、自動車メーカーと連携したノベルティー、県立美術館及び甲府刑務所との共同によるパーティ用トレイ等の試作品を開発。
- 令和6年度は、汎用性の高い生活雑貨や、教育玩具・身体能力を養う遊具の試作品の開発、また東京で開催される展示商談会への出展を支援。



□ 事業内容

やまなしの木マーケット開拓事業

- ・ 県産木材の利用拡大を図るため、県産木材製品の試作品の開発及びその製作や展示会への出展等の販売促進に関する経費を補助（補助率1/2）
- ・ 東京都主催の木材製品展示商談会への出展に要する経費（定額）

【事業費】975千円（全額譲与税）

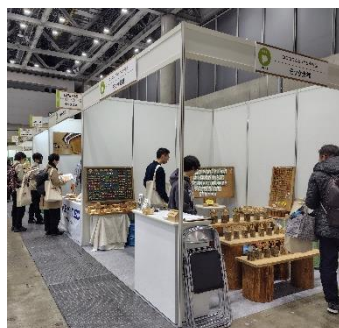
- 【実績】・生活雑貨、教育玩具、身体能力を養う遊具の開発
・7事業者が展示会へ出展



（生活雑貨）



（身体能力を養う遊具）



（展示会への出展）

□ 取組の背景

- ・「山梨県県産木材利用促進条例」
- ・「県産木材の利用の促進に関する基本方針」

□ 工夫・留意した点

- ・ 開発製品のPR活動経費を補助対象とし、展示会出展等の費用負担を軽減することで、幅広いプロモーション活動が展開できるようにしている。

□ 取組の効果

- ・ 学生と連携した汎用性の高い生活雑貨の開発により、付加価値のある県産材製品が普及。
- ・ 身体能力を養う遊具の開発により、保育・教育施設へ県産材製品が普及。
- ・ 販路拡大が期待される展示商談会への出展により、事業者負担を軽減するとともに、ビジネスチャンスを創出。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：64,453千円	②私有林人工林面積（※1）：58,219ha
③人口（※2）：809,974人	④林業就業者数（※2）：794人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より